

104-280

問題文

2週間後の褥瘡対策チームによる回診で、患者の創部に壊死組織はほとんど見られず、滲出液の減少、赤色期の肉芽形成の開始が確認された。褥瘡対策チームの薬剤師は、今後の治療に必要な外用剤の提案を求められた。推奨する薬剤として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. トレチノイン トコフェリル軟膏
2. フラジオマイシン硫酸塩・結晶トリブシンパウダー
3. ヨードホルムガーゼ
4. プロメライン軟膏
5. アルプロスタジル アルファデクス軟膏

解答

問280：5問281：1, 5

解説

問280

滲出液（しんしゅつえき）が多い場合には、マクロゴールなどの **水溶性基材** が用いられた軟膏を用いて軟膏に液を吸収させます。

選択肢 1～4 は疎水性基材です。よって不適切と考えられます。

以上より、問280 の正解は 5 です。

問281

赤色期の肉芽形成開始が確認されているため、上皮再生を促すため、アルプロスタジルアルファデクス軟膏の使用が推奨されます。また、トレチノイントコフェリル軟膏も、滲出液が減少しているため、保湿しつつ上皮再生を促すという視点から推奨されます。

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが

感染・炎症があれば妥当ですが、本問における状況においては推奨されません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は共に壊死組織の分解・除去に用いられる外用剤です。壊死組織は殆ど見られないとあるため、推奨されません。よって、選択肢 3,4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、問281 の正解は 1,5 です。

類題 , ,